

令和元年度・平成31年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
1 芸術・文化のまちづくり事業								
1	継続	麻生音楽祭開催事業	3,100,000	3,041,494	地域振興課	「芸術・文化のまち麻生」の一翼を担う事業として、麻生区を中心に音楽活動をしている音楽団体、小学校・中学校・高等学校などの音楽グループが、それぞれの自主性を尊重しつつ、日ごろの活動の成果を披露し、相互の交流を図りながら、互いに学び合うという精神をさかすとともに、広く区民のきずなを深め、区政の推進と芸術文化の向上を図る場として実施します。	・6月9日(日)オープニングイベント、6月22日(土)スクールコンサート、6月23日(日)ポピュラーミュージックショー 6月30日(日)コースのついで、7月1日(月)かなでようあさおの響き、7月13日(土)アンサンブルのついで 7月14日(日)ファミリーコンサート と、計7日間開催。 ・しんゆりフェスティバルマルシェでのPR、バナーフラッグ掲出やチラシ、ポスター、FMヨコハマへの出演、Facebook等の広報活動を通じ、「音楽の街あさお」を多くの市民にPR	市民が参加して企画・運営を行う麻生音楽祭は、芸術・文化のまちづくりを推進するために柱となっている事業です。次年度も引き続き、参加者・入場者数増加のため広報活動を強化すると共に、学校が参加しやすい運営方法や、さらに効率的な事務執行への改善の可能性も検討していきます。
2	継続	あさお観光資源の魅力紹介事業	1,151,000	1,151,000	地域振興課	多彩な観光資源をもつ麻生区の魅力を広げるため、麻生観光協会と連携し、観光ガイドブックの製作及び区の木「榊丸柿」を活用した事業を行う。	観光ガイドブックについては、麻生観光協会と内容を協議し、改訂版を5,000部(2年分)製作した。 榊丸柿関連イベントについては、榊丸柿の柿もぎと半ほり体験(定員30名・申込193名)、榊丸柿に関する小学生の作品展示(区役所ロビーで実施)、かきまるくんグッズの製作(タロット230枚)を実施し、麻生区の地域資源の魅力を広げ発信し、地域のイメージアップにつなげた。	引き続き、榊丸柿をはじめとした貴重な地域資源を活用するとともに、新百合ヶ丘・黒川エリアなどの魅力や資源を活かし、麻生区の魅力を広げPRできるよう継続して取り組めます。
3	継続	KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会開催事業	998,000	996,749	地域振興課	自然豊かで芸術・文化の香り漂い、新たな故郷が感じられるまちづくりが望まれているなか、麻生区に定着している芸術・文化資源「KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会」を有効に活用して、「ふるさとあさお」「芸術・文化のまち麻生」を提供します。さらには、家族での夏の終わりの思い出作りを提供します。	・令和元年8月24日 周辺町会や学校の協力を得て、西生田小学校にて初開催	芸術・文化を通じた地域住民の交流や地域資源を活かした芸術・文化のまちづくりを区内全域に広げていく観点から、引き続き事業を実施する必要があります。その上で、地域団体等との連携や関連イベントの内容、広報の方法等について検討します。
4	継続	ふるさとあさお再発見事業	322,000	324,978	地域振興課	麻生区の豊かな自然の中で育まれた米・野菜・七草を用いて、「古風」のゆえんである焼いたお餅を加えたお粥を振る舞い、地域に伝わる伝統・伝承文化などを区民に広く紹介する。	1月7日「第16回あさお古風七草粥の会」の開催	地域に伝わる伝統・伝承文化を風化させず、後世に継承していくという観点から継続的な事業展開が必要である。
5	継続	イメージアップ推進事業	1,706,000	1,571,108	企画課			
	継続	懸垂幕作成業務			地域振興課	麻生区のイメージアップを図るため、スポーツ・文化活動などの全国大会出場等を応援する懸垂幕を区役所壁面に掲出すると共に、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルに芸術・文化関連イベントの柱巻き広告物を設置することで広く地域住民にPRをします。	・「麻生音楽祭」(R1.6-7)、「あさお芸術のまちコンサート 夏のハーモニー」(R1.7-8)の柱巻き広告物の掲示、 「アルテリッカルしんゆり懸垂幕の掲出(H31.3-R1.5)」 ・桐光学園高等学校サッカー部インターハイ優勝懸垂幕の作製・掲出(R1.8)	柱巻き広告物の広報効果は高く、次年度も継続して事業を実施しますが、新百合ヶ丘駅周辺のエリアマネジメントの動向も踏まえながら、並行して柱巻き広告物に代わる広報手段についての検証が必要であると考えられます。
	継続	新百合ヶ丘駅周辺のイベント支援事業			企画課	公民協働の取組のうち、「kirara@アートしんゆり」を区の共催事業と位置付け、イベント開催に係る参加と支援を行う。	kirara@アートしんゆりの支援を実施	麻生区的主要な取組である「芸術・文化のまちづくりの推進」にむけて、公民協働によるイベントを実施し、地域を活性化し、区の魅力やPRすることが求められているため、本事業を継続して実施していきます。
6	継続	地域資源を活用したまちづくり推進事業	400,000	142,308	企画課	地域の特色や教育機関、企業等が持つ資源を活用し、各種団体と協働して魅力ある地域づくりに取り組むことを目的として、法人・団体等から地域資源を活用した事業の提案を受けて委託することで、区のイメージアップを図る。	麻生区・6大学公学協働ネットワークを通じて、明治大学「黒川農場収穫祭」で、昭和音楽大学卒業生等によるミニコンサートを開催し、芸術まちづくりの寄与と農のイメージアップを図りました。	麻生区にある地域資源等を有効活用し、引き続き、魅力ある地域づくりに取り組むことが必要ですが、提案数が少ないため事業のあり方について見直しを行いつつ継続実施していきたいと考えます。
7	継続	あさお芸術のまちコンサート事業	2,698,000	2,673,756	地域振興課	平成12年度より始まった「あさおランチタイムコンサート」が会場を区役所ロビーから区内ホールへ移し名称を改めて実施しています。区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進します。	・7月29日 区内ホールコンサート(新百合ヶ丘エミルロード) ・8月25日 夏のハーモニー(麻生市民館ホール) 10月6日 区内ホールコンサート(田園調布学園大学) ・11月17日 ユニヴァーサルコンサート(新百合21ホール) ・2月16日 ユニヴァーサルコンサート(昭和音楽大学ユリホール) ・あさおパラアート作品展&ミニコンサート(ユニヴァーサルコンサートと同時に開催)の開催支援	音楽を通じた様々な交流の活性化や、他の芸術・文化団体との協力・連携により地域のつながりを強めるため、本事業を継続して実施する必要があります。さらに、芸術・文化のまちづくりを区全域に広げ、誰もが文化芸術活動に親しむ環境づくりを進めるため、必要な検討を行います。
8	継続	しんゆり・芸術のまち推進事業	5,034,000	4,882,224	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関係のさまざまな施設や人材などの地域資源を活かし、事業者、教育機関、市民、行政等の連携により、「しんゆり」を中心とした活力ある地域経済の創造、豊かな地域社会の実現と芸術を通じた幅広い効果を追求する「しんゆり・芸術のまちづくり」の取組を区全体に広げ、「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指します。	・「しんゆり・芸術のまち」HPやSNSによる情報発信、芸術・文化団体が連携したイベントカレンダーの区内配布(1回) ・「あさお芸術・文化交流カフェ」(7月1日、2月12日)、全体交流会「カフェ・グランデ あさお」(9月29日)の開催 ・新百合ヶ丘駅南口バスターミナルでの柱巻き広告物の掲示(2回・約2か月) ・アルテリッカルしんゆりやkirara@アートしんゆり、Shinyuri Station Pianoに関する支援	区内の芸術・文化資源を生かした地域活性化や地域ブランド化、さらに誰もが芸術文化を楽しむ環境づくりに向けて、集約した情報発信や芸術・文化団体の交流・連携を引き続き推進するため、本事業を継続し、取組を充実していく必要があります。
2 農と環境を活かしたまちづくり事業								
9	継続	あさお花いっぱい推進事業	913,000	883,370	地域振興課	区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を目的に、川崎市美化運動実施麻生支部と協働し、公共的空間にある花壇を自主的かつ継続的に管理している団体に花苗等を提供して支援する。	川崎市美化運動実施麻生支部と連携し、ホームページ、市政だより等での広報の他、町内会・自治会、子ども会といった各団体等に広く協力を呼びかけ、支援を必要とする美化活動団体を集めた。申請のあった26団体(うち新規3団体)に花苗等を提供し、地域の環境美化及び地域コミュニティの向上につなげた。	事業の執行方法を見直し、地域に根差したコミュニティ活動の発展、地域の環境美化に対する意識向上を達成するため、当事業による美化活動団体への支援は重要であり、今後も継続的に取り組んでいく必要があります。
10	継続	麻生里地・里山保全推進事業	880,000	879,999	生涯学習支援課	麻生区は、多摩丘陵の豊かな自然を残しながら、「しんゆり・芸術のまちづくり」などを中心にまちづくりが進められている。しかし、その一方で、心を和ませてくれる里山やのどかな田園風景が、年々失われつつある。このまちの先人達が築いてくれた里山の自然や、その自然とともにある貴重な文化や歴史を継承し、様々な団体や個人との協働や連携を図り、新しい里地・里山の魅力を引き出し、次世代へつなぐための事業を展開する。	7月～12月に里地・里山カフェ塾やあさお里山子どもクラブ、11月～2月に里地・里山ナチュラリスト養成講座、里山フォーラムを継続実施した。養成講座の1コマに、里山フォーラムへの参加を組み込み、事業実施に関わる人材を増やす取組を行った。また、万福寺人形品評会には、区内小学校の児童や大学生の参加があり、風景写真展の開催、里地・里山だよりの発行等により、自然とともにある貴重な文化や歴史の継承につなげた。	委託団体の高齢化に伴い、若い人材の確保をしなければ事業縮小、実施継続が不可能となることが予想される。そのため、事業内容の精査をしたり、次世代の担い手を獲得できるような事業を実施していく必要がある。
11	継続	ヤマユリ植栽普及促進事業	388,000	249,929	地域振興課	区内で自然環境再生への問題意識が高まっている中、地域の環境美化及び地域コミュニティを推進するために、地域の公園緑地管理運営協議会等と連携し、消えつつあるヤマユリの植栽活動を促進、支援し、植栽のノウハウの蓄積、普及を促進します。	・地域の公園愛護会等と連携したヤマユリ植栽地の観察・管理活動(6植栽地)と植栽支援(4か所) ・ヤマユリ開花展示会の開催(6月25日～7月4日) ・ヤマユリ植栽替え情報交換会(11月19日) ・ヤマユリ育苗講習会(新型コロナウイルス感染症防止のため幼苗ポット配布会へ規模を縮小して実施)(3月24日)	区民の関心が高くなりヤマユリの植栽・普及活動は、今後も継続して事業を実施する必要がありますが、団体の高齢化等から運営状況に合わせた事業内容の見直しや担い手を獲得できるような事業の実施を検討していく必要があると考えられます。
12	継続	エコのまち麻生推進事業	690,000	634,507	企画課	区民一人一人が取り組める身近なエコ活動を啓発し、区民や市民活動団体等との協働による「エコのまち麻生」を推進する。	・ゴーヤのカーテンを実施しました。 ・自然エネルギーの活用促進や地球温暖化防止に向けて、自然エネルギー学校(6/22)、自然エネルギー施設見学会(11/1)、「未来をひらく自然エネルギー PART3～地域のエネルギー自立をめざして～」(2/1)、保育園での出前授業(9/20、10/30)などを開催しました。	自然エネルギーの活用や地球温暖化の防止に向けて、普及・啓発活動を行う必要性があり、今後も継続して事業を実施していきますが、一部事業については業務の見直しを行い、事務改善の可能性を検討して行きます。
13	継続	農と環境を活かした連携事業	3,431,000	3,410,000	企画課	区民会議第1期「地元農産物と地域交流」第2期「エコのまち麻生の推進」第3期「循環型のまち・生ごみリサイクル」、「グリーンアップ・里山ボランティア」の提言を踏まえ、区内大学や学校、農業振興地域の農業従事者、事業者等と連携しながら、区内にある農業資源(早野・黒川・同上)の農業振興地域、明治大学黒川農場)や緑地などの環境資源を活用した地域活性化や地域交流を促進する。	・黒川地域連携協議会(年1回)・地元意見交換会により、関係者相互の理解を促進した。 ・黒川地域連携イベントを通じて農の魅力発信、地元野菜収穫体験や調理体験等の食農イベントの開催を実施し、地域連携を促進した。	30年度の計画定めに沿った形で事業を推進しつつも、地域との連携や部会間連携等によって、より効果的・効率的な事業運営を継続することが適切であると考えられます。
3 すこやか・支え合いまちづくり事業								
14	継続	あさお福祉まつり開催事業	2,344,000	2,343,600	地域ケア推進課	区内で地域福祉活動に携わる当事者・ボランティア・施設などの活動を広く区民に知らせ、福祉への理解を深めるとともに、地域福祉に携わる団体が交流する「あさお福祉まつり」を開催する。	11/10(日)開催。来場者に対し区内の福祉団体・ボランティアの活動紹介や、高齢者疑似体験等各種体験の機会の提供、福祉施設等の自主製品販売などを行った。区では福祉分野の恒例行事として定着しているが、前回に続いて地域包括ケア推進事業の中・高年齢向けコース教室の発表会を組み込むことができ、参加者は7,000名となった。多くの区民に地域福祉活動の周知を図ることができ、また参加団体同士も含めた連携強化に繋がった。	令和元年度で30回目の開催となり、参加者や来場者も多く、重要な福祉事業として区内に定着している。中高年齢向けの地域包括ケアシステム推進関連事業との連携を継続することで、来場者の増員や、地域包括ケアシステムに関する普及啓発に繋がっていきたいと考える。今後も区民発意のもと、来場者への地域福祉に関する普及啓発の場として事業を開催していく。
15	継続	公園を拠点にした健康づくり推進事業	182,000	125,233	地域支援課	緑の多い麻生区の特徴を生かして、区民がウォーキングや体操などの取り組みを通して生活習慣病の予防及び介護予防を図り、健康寿命を延伸することを目的として、公園を拠点とした健康ウォーク及び健康体操を継続実施します。	・区内6か所の公園ウォーキングおよび4か所の公園体操を開催できるよう、活動を支援した。 ・事前講座を依頼したり、地域活動の支援を行った。 ・あさおウォーキングマップの配布を継続した。	介護予防や健康づくりのための運動として、公園での取り組みが定着している。ボランティアや参加者のモチベーションをあげ今後も意欲的に継続できるよう支援をする。また、ボランティアがいなくても体操ができるよう、身近な場所で体操が行える仕組みを作っていく。
16	継続	高齢者見守りネットワーク事業	25,000	22,909	高齢・障害課	日常の事業活動を通して高齢者と接することの多い、生協、信用金庫・JA・郵便局、宅配弁当、薬局等の地域の事業所と、民生委員や地域包括支援センター、麻生警察署・麻生消防署・川崎市消費者行政センター・司法書士会等関係機関が参加する情報交換会・連絡会を開催し、顔の見える関係づくりを目指す。関係機関等の連携強化により生活に異変のある高齢者や何らかの支援を必要としている高齢者を早期に発見できる環境づくり、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進します。	令和2年2月26日に開催予定の情報交換会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、実施に向けては協力事業所による地域での取り組みについての情報提供を行うなど、情報交換会の内容の見直しを行いました。また、新たな事業所に情報交換会参加の呼びかけを行い、ネットワークの充実を図りました。	高齢者と接することの多い地域の事業所・関係機関等と引き続き連携を図っていく必要があります。今後とも、情報交換会・連絡会を開催し、顔の見える関係づくり、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進し、見守りネットワークの充実を図っていきます。

令和元年度・平成31年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
17	継続	地域包括ケアシステム推進事業	1,578,000	1,440,937	地域ケア推進課	地域包括ケアシステムを区内に推進していくため、地域ごとに「つながり・連携・支え合い」の仕組みづくりを進める。高齢者が集う場を活用し、子ども・子育て世代と高齢者が交流を図る多世代交流事業や、物品の貸出、団体とのマッチングなど地域活動に係る資源の支援を行う地域活動支援事業、様々な主体による地域の取組の紹介等による普及・啓発事業を行う。	多世代交流事業 ・高齢者施設等を会場に地域の親子や高齢者など多世代が一緒に遊び交流した(5回、延べ合計131名参加) 地域活動支援事業 ・必要物品の貸出、活動場所の提供、関連施設・団体等とのマッチングなどのホームページによる情報提供。 地域包括ケアシステム普及・啓発事業 ・地域包括ケアシステム講演会～高齢になって困ること～(12月21日 60名参加) ・認知症講演会～認知症の人から学ぶ思い～(2月18日 60名参加) ・地域包括ケアシステム講演会～地域でいきいきと暮らすために～(2月23日 30名参加) ・「地域みまもり支援センターだより」の発行と町会・自治会や関係機関等への配布(7,000部) 大学との連携事業 ・昭和音楽大学「大人のためのはじめてのコーラス教室」(9～11月 40名参加) ・日本映画大学「地域上映支援大学～まちに映画を届けよう」(10～11月 13名参加)	地域の実情に応じた取組を進めるため、必要な支援方法等の見直しを行い、住民に対しては地域包括ケアシステムの啓発を推進すると同時に、町会自治会などの地域の団体等に先進事例などの紹介や、活動の促進を行っていく必要がある。

4 安全・安心まちづくり事業

18	継続	麻生区安全・安心まちづくり事業	1,971,000	1,355,716	危機管理担当	・社会情勢に即応した課題を共通認識し、住民・地域団体・事業者・行政機関等の連携及び協働により、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。 ・死亡事故に直結することの多い自転車事故を回避するための判断力向上を目的に、事故の瞬間、現場を目で見て学ぶ「スクエア・ストリート交通安全教室(スタントマン)による自転車事故の再現」を実施する。 ・増加傾向にある高齢者の事故防止のため、民間自動車教習所で高齢者が安全な交通運転技術を習得する「シルバー・ドライビングスクール」を実施する。	・小学生を対象としたスポーツ防犯教室(2回)、地域で子どもたちを見守る意識高揚に資する研修会を開催すると共に「パトロール物品の貸与等を行い、区民の防犯意識の啓発と自主活動の支援を推進しました。 ・スクエア・ストリート教育やシルバー・ドライビングスクール等、対象層に応じた様々な手法による交通安全教室を開催し、交通事故防止を図りました。 ・一部の研修会・啓発事業については、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止しました。	刑法犯認知件数や交通事故の件数は引き続き減少していますが、振り込み詐欺等の身近な犯罪や高齢者・子どもへの交通事故が増加しており、それらへの対応が引き続き重要です。そのため、事業目的や方向性は維持したうえで、今後も環境の変化に応じて一層効率的・効果的な事業運営を図ってまいります。
19	継続	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	905,000	836,000	地域振興課	区民から好評を得ている麻生区ガイドマップを、最新の情報に更新し、改訂版を発行します。配布方法は、転入者に転入時に配布することを中心に、区役所窓口にて必要な方に配布します。転入者に知ってもらいたい、放置自転車等放置禁止区域、路上喫煙禁止重点区域の掲載や、転入者が転入して不安のないよう、災害緊急時の井戸の所在地や避難所一覧など防災情報も盛り込むなど、地図情報だけでなく、麻生区の各種情報を盛り込んだものとします。	・令和2年3月、麻生区ガイドマップの改訂・発行(13,000部) ・麻生区ホームページ用の地図データ、新百合ヶ丘駅周辺データの作成、公開	地図を中心とした区内の情報は特に転入者にとって必要性が高いので、区の魅力発信も含めた内容の改訂や事務改善についても検討しながら、今後も継続して事業を実施します。
20	継続	麻生落書き消し事業	100,000	99,620	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺並びに百合ヶ丘駅及び柿生駅周辺等を中心とした落書き消しを実施し、駅周辺の美化と犯罪防止をめざします。また、町会・地区の要請による「出前落書き消し」を実施し、落書き消しのノウハウを広く、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進します。	・一般参加者、麻生警察署、区内郵便局、駅周辺企業等が参加した落書き消しの実施(5月11日:山科隧道、11月9日:百合ヶ丘駅周辺・山科台周辺) ・区役所、新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム等と協働でのクリーンアップ大作戦(10月5日:小田急線高架下)	これまで継続して実施してきた落書き消しの活動により、事業開始当初より落書きが減少しており、今後も地域の美化・犯罪防止に向けて事業を継続する必要があります。今後も、地域団体等との連携を深め、参加者を募りながら、落書き消しの普及啓発活動を一層促進していきます。
21	継続	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	303,000	67,410	危機管理担当	交通安全、犯罪に巻き込まれないことを目的に、平成23年度から小学校区ごとに交通・防犯上の危険箇所を把握し、マップを作製している。事業を開始した平成23年度及び平成26年度に続き、平成29年度に改訂を行い、1年生から3年生までに配付した。平成30年度及び令和元年度は4月に入学する新1年生用に必要部数を増刷修正し、配布する。	平成29年度に全面改訂したマップをもとに、麻生区交通安全委員の会及び麻生警察署と連携して麻生区内の道路の改善や事故発生状況を確認しました。また、区民課が把握している新入児童数の情報を参考に小学校区ごとの適正な数のマップを印刷し、令和2年3月に各小学校へ配布しました。	令和2年度は3年に一度の改訂が予定されています。交通安全に関する情報に加えて、緊急時の駆け込み先等の防犯に関する情報についても周知の必要性が増していることから、関係団体と連携し、さらに充実したマップを作成・配布してまいります。
22	継続	地域防災力の向上事業	3,742,000	3,206,666	危機管理担当	地域防災力の向上に向け、災害時の対応は、自助・共助の取組が重要であることから効果的な啓発を通じ、区民の防犯意識の醸成を図ると共に、より実践的な内容を主眼とした区総合防災訓練の実施、避難所運営会議や自主防災組織など地域主体の訓練に対する支援や関係団体による災害対策連絡協議会の開催を通じ、地域が一体となって災害対応の充実を促す。また、区災害対策本部体制の強化に向け、研修・訓練を通じ職員、防災意識・スキルの向上を図る。	・新たな区本部体制の運営に向け、立上手順書を整備すると共に必要物品の整備を行った。 ・台風19号の検証を踏まえ、避難所運営に必要な物品の整備を進めると共に、避難所開設についてマニュアルを作成した。 ・自主防組織へ、訓練支援や講座を通じた適切な支援を行い、地域防災力の向上に努めた。	限られた資源や人員を効果的に使えるよう、運営体制の見直しを図っている。また、訓練の実施などにおいても、定型的な訓練をベースとしつつ、より実践的な訓練を増やすなどスクラップアンドビルドを進めている。

5 総合的な子ども・子育て支援事業

23	継続	子育て支援・企画事業	2,720,000	2,546,883	地域ケア推進課	地域の子ども関連機関や団体と連携し、情報交換、研修、相互協力を行うことにより、地域の実情に合った総合的な子ども・子育て支援事業を実施する。	麻生区子ども関連ネットワーク会議 全体会・研修会、区民向け講座、子育てサークル等交流会の開催 ・全体会を5月、10月、3月の年3回実施(3回目は書面開催)。研修会は10月に「子どもの発達障害と特性の理解について」の研修会(20名参加)を実施。、6月に子育てサークル交流会を実施(23名参加)、2月に区民向け講座「子どもを守るインターネットセキュリティ講座」を実施(32名参加)。 子ども関連情報の発信 ・子育て情報誌の作成・配布(「きゅっとハグあさお」5,500部・「麻生区ちびっこおでかけMAP12,000部」等) ・ホームページ、子ども情報コーナー、かわさき子育てアプリの運用 子育てグループへの活動支援の実施 ・麻生区子育て人材バンク(派遣件数 105件 140人) ・子育てグループ交流会(6月実施 23名参加) 区民向け講座、イベントの実施 ・新米パパ&ママ向け子育て連続講座(全3回)を2回(各回平均40名程度参加) ・父と子向けイベント「パパとあそぼう! パワフルキッズ」(6月・11月実施 50組134名参加) ・区民向け子育て講座(9月実施 25組49名参加) ・イオンと連携し、各保育園職員による「親と子の遊びタイム」(毎月1回実施) ・地域の次年度就学予定児童の交流を目的とした「GO GOキッズ」(1月・2月実施 21組56名参加)	今年度の実施結果を検証し、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行うとともに、地域の声を反映させながら、地域全体で子育て世帯を支える子ども・子育て支援を推進する。
24	継続	こども関連大学連携事業	2,189,000	2,135,479	地域ケア推進課	「麻生区・6大学 公学協働ネットワーク」に基づき、各大学の特色や資源などを活用した、総合的な子ども・子育て支援事業を推進する。	・昭和音楽大学との連携事業(子どもと一緒のコンサート8/31 601名、交流コンサート12/1 109名) ・和光大学との連携事業(夏休みファミリー体験学習in鶴見川8/3 30組60名) ・田園調布学園大学との連携事業(あそぼう けるける田園チャイルド6/27・7/25・8/29・9/21/10/24/11/21/12/5 各回平均37名程度、キッズアート田園「夢がふくらむWAKUWAKUランド～粘土であそぼう」8/10 38組101人) ・日本映画大学との連携事業(こども映画大学8/15-18 38名) ・明治大学との連携事業(アグリ・エコファーム体験in明大黒川農場10/19 21組42名) ・玉川大学との連携事業(赤ちやん学講座(全3回の連続講座形式)10/19・11/16・11/22 各回平均70名程度、親子で体験! アドベンチャー玉川大学TAPセンター12/8 25組50名)	今年度の実施結果を検証し、各大学とも調整を図りながら、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行い、広報手段の拡充なども含め、より効果的な子ども・子育て支援を推進する。
25	継続	外国籍等こども学習支援事業	648,000	648,000	学校・地域連携担当	外国につながる児童生徒の学習を地域で支援するため、区内の小・中学校において個別の学習支援や公共施設等を利用して集団学習支援を行う。	・区内の外国につながる児童生徒に対して授業中や放課後に個別指導を行った。 ・区内の公共施設等を利用して、会員の自由参加による集団学習支援を学校の長期休業中に実施したり、児童・生徒の親睦会を実施し交流を図った。	外国につながる児童生徒の入学者数の増加に伴い、区内の学校現場及び児童生徒の保護者からの要望が増加しているが、すべての要望に応えることが難しいため、今後は新たなボランティアの養成及びさらなる質の向上を図るための研修を実施していく。
26	継続	あさお子育てフェスタ開催事業	760,000	496,185	地域ケア推進課	子育ての不安や悩みを抱え孤立しないように、行政と地域の子育て支援団体等が協働して「子育てフェスタ」を開催する。必要な支援の情報を届け、地域団体とのつながりや子育て世代相互の交流の機会として、ストレスや悩みの解消につなげる。区内の様々な子育て支援施設等のアピールの場としても活用する。	第5回あさお子育てフェスタを9月21日(土)に開催した。 ・来場者 約2,100人 ・参加団体 約45団体	日頃から子育て支援を行う団体や地域の方の意見を取り入れながら企画検討を行い、内容の充実、参加者の利便性を図る必要がある。

令和元年度・平成31年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額 (円)	決算額 (円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
6 コミュニティづくり事業								
27	継続	麻生区市民活動支援施設利用促進事業	2,817,000	2,652,160	地域振興課	麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」を麻生区における多目的な市民活動支援拠点として位置づけ、同施設の市民活動支援の推進を図ることを目的として実施する。	・市民活動団体交流イベント(10/6、2/9)、人材育成講座(アクティブシニアセミナー:1/11-2/8)等の実施 ・地域ネットワークサイトの運営及び「やまゆりニュース」及び「あさお・ふれんず」による市民活動の情報提供・発信 ・新たなコミュニティ施策に係り「まのひろば」プロジェクトを立ち上げ、区内のまのひろば情報収集とロゴ等の募集、収集情報の整理、専用ホームページの作成。 ・市民活動相談窓口の運営(5・10月に強化月間を実施。4者合同) ・新しいコミュニティづくりに資する市民活動への助成(5団体)	市民主体の中間支援組織が運営する麻生区の市民活動支援の拠点として、「やまゆり」を通じ市民活動支援を継続していく必要があります。今後は、これからのコミュニティ施策における「あさお希望のシナリオプロジェクト」での取組の中で、やまゆりの特性を生かした中間支援の役割について検討すると共に、やまゆりのあり方についても引き続き検討していきます。
28	継続	町内会事業提案制度事業	813,000	238,304	地域振興課	地域住民相互のつながりや地域の課題解決力の強化を目指し、区内の町内会・自治会が行う地域課題解決等につながる事業を支援する。町内会・自治会から事業提案を受け、審査を経て、当該町内会・自治会に事業の実施を委託する。	「ふれあいの里・岡上プロジェクト」事業(岡上町内会)が提案・実施され、地域の課題解決につながった。「防災視察研修」事業(東百合丘町会)は提案されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施直前で中止となった。	地域の課題解決や地域の活性化につながる重要な事業であるため、継続して実施します。
29	継続	麻生区地域功労賞事業	59,000	23,210	地域振興課	地域活動への関心を高めることを目的として、地域活性化に貢献している個人または団体を麻生区長名で表彰する。	令和元年度は、個人1名、3団体の推薦があり、麻生区地域功労賞選考委員会の選考により、2団体が受賞した。当初、あさお区民まつりにおいて表彰式を予定していたが、令和元年東日本台風の影響で区民まつりが中止となったため、別日に表彰状贈呈式を行い、受賞者については町達だより、地元広報紙などで広報した。	地域活性化に貢献した個人や団体を表彰し、住民の地域活動への関心と理解を深めることは、地域活動への参加を促進するために必要な事業であることから、継続します。
30	継続	麻生区市民活動支援施設活用事業	8,555,000	8,555,000	地域振興課	当該施設は、新百合ヶ丘駅南口・旧あさひ銀行グランド跡地の土地利用転換に伴い、応分の負担として開発業者が「市民活動の拠点施設」を整備することが決まり、平成19年4月に市に寄贈され、供用を開始しました。当該施設を多目的な市民活動の拠点施設として、市民の主体的な運営参加を実現することにより、市民活動の一層の推進を図ります。	・市民活動の「場」の提供(会議室の平日昼間稼働率:84%)	麻生区の市民活動の拠点として、多くの市民活動団体に活動の場を提供するなど成果を上げてきており、引き続き支援を継続していくほか、老朽化が進んでいることから、今後の修繕計画について検討していく必要があります。また、これからのコミュニティ施策を踏まえ、今後のやまゆりのあり方についても引き続き検討していきます。
31	継続	麻生区多文化共生推進事業	355,000	29,147	生涯学習支援課	多文化共生を題材とし、麻生区在住の外国人市民との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深める。次世代を担う子どもの参加できる事業や、多文化共生社会への関心が薄い市民に対しても興味を持てるような様々な事業を企画しながら、麻生区内において多文化共生社会の実現をめざす。	実行委員会(10回開催)による企画準備を経て、3月14日に開催を予定していたもの、コロナウイルス感染予防のため、開催を中止した。	多文化共生に関心のある市民と対話しながら見直し、改善を図っていくことが適切であると考えられます。
32	継続	市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業	320,000	320,000	生涯学習支援課	地域人材育成及び発掘による、市民活動・地域活動の活性化を図り、多様な分野で活躍する人材や団体を結び付けることを目的として、「麻生区市民活動団体検索システム」の運用・管理や市民参加のためのコーディネート機能の確立に向けた解説書作成など、総合的な視点に立った事業を推進する。	・運用3年目になる検索サイトについて、使い勝手を良くするためにサイト画面の改善を行い、広報でも強化月間などで積極的に関係者にも連携して取り組んだ結果、同サイトへのアクセスについても順調に推移した。 ・市民活動や生涯学習関連施設等をヒアリングし、事業のノウハウを集約し、麻生区における地域人材コーディネート機能の解説書を作成した。	「麻生区市民活動団体検索システム」のサイトへのアクセス数は安定的に推移しているものの、社会環境の変化や希望のシナリオなどの他事業の動向を捉えつつ、見直しを図っていくことが適切であると考えられます。
33	継続	区民祭開催経費	235,000	235,000	地域振興課	住みよいまちづくりを目指し麻生区民の連携を深めながら、毎年10月2日曜日にあさお区民まつりを開催する。41団体により実行委員会が構成され、各町会・自治会や協賛企業の協力もあり、区民手作りのまつりとして地域に定着している。	10月13日に第37回あさお区民まつりを開催する準備を進めていたが、令和元年東日本台風の影響により、中止となった。	町内会・自治会をはじめとする多くの団体が開催へ向けて尽力し、麻生区の一大会であることから、今後も円滑な開催を図っていく方向です。
34	継続	麻生区市民提案型協働事業	1,995,000	758,013	企画課	地域課題の発見と解決を図る新たな提案型事業を公募し、事業選定審査委員会の意見をもとに事業決定する。決定した事業は、市民活動団体等の提案団体と協働の理念にのっとり、事業を委託して実施する。	・各所管課と連携して適切な事業運営を行った(協定、契約、予算執行、その他連絡調整など)。 ・今年度事業の中間報告及び3月17日に今年度実施事業の報告会を行った。 ・提案事業の実施スケジュールや審査基準について、関係所管課・機関や審査委員とも協議の上、検討を行った。 ・令和2年度事業の公募・選定を実施した。	現状、区から団体への委託事業という形で募集しているため、利益を出す事業に対して直接の支援ができず、事業の継続性という面からは効果が乏しいものとなっていることから、提案事業が制度の枠組みから外れても、団体が事業を自主財源で運営できるように、制度の見直し・改善が必要であると考えられます。
35	新規	町内会・自治会加入促進事業	709,000	694,968	地域振興課	麻生区町会連合会と協働し、町内会・自治会未加入者に対する町内会・自治会加入促進パンフレットを製作することにより、積極的に町内会・自治会への加入を促し、地域コミュニティの活性化を図る。	平成30年度作成の「町会・自治会ガイドブック」の内容を改訂した上で発行し、麻生区転入者が区役所での転入手続きの際に受け取るウェルカムセットの一つとして配布し、町内会・自治会への加入を呼びかけた。	町内会・自治会への支援の観点からも、町内会・自治会の加入率を維持していくことは重要であり、毎年継続して実施していきます。
36	継続	スポーツのまち麻生推進事業	2,566,000	2,558,807	地域振興課	「川崎フロンターレ麻生グランド」を始めとした、区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業の実施や、区内のスポーツ関係団体で構成される「スポーツのまち麻生推進会議」の運営、さらに区民が自主的に行うスポーツ大会の支援、スポーツ・健康ロードの活用事業、総合型地域スポーツクラブ運営支援事業などを通して、魅力あるスポーツのまちづくりを推進する。	・令和元年9月21日(土)スポーツ・健康ロードボールウォーキング体験会ほかスポーツ体験イベント、教室を開催 ・令和元年9月26日(木)スポーツのまち麻生推進会議開催 ・麻生スポーツフェスティバルにおいて10団体14大会のスポーツ大会を支援	かわさきバラムーブメント推進ビジョンの策定に伴うバラムーブメントの全庁的な取組の推進及び平成29年度の川崎市スポーツ推進計画の改定を受けて、障害者と健常者が一緒に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催など、これまでの地域資源を活用した地域スポーツの推進の継続と、さらなる取組を推進する必要があります。
7 地域課題対応事業その他事業								
37	継続	事務費等共通経費	1,135,000	888,463	企画課	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等の購入、郵便料、複写品定等を確保する。	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等を購入した。また、郵便料、複写品費等を適正に執行した。	需用費等について見直しを行いながら、引き続き計画的に執行していく必要があると考えられます。
8 区役所サービス向上事業								
38	継続	区役所窓口等サービス充実改善事業	2,578,000	2,385,745	区民課	区役所サービス向上指針に基づき、市民に便利で快適なサービスの、効率的・効果的かつ総合的な提供を行い、市民の視点に立った区役所サービスの充実を図る。	・混雑期に窓口案内を設置し適切な案内・誘導を行った。 ・区民サービスの充実に向けた推進研修・クレーム対応研修(3回)を実施した。 ・区役所内の掲示物の見直しや改善等により、庁内の環境整備を行った。	市民の視点に立ったサービスの向上のため、社会環境の変化への対応や市民ニーズの把握を常に行い、継続的に課題の発見と改善に取り組む必要がある。
39	継続	区政・地域情報提供事業	133,000	71,867	企画課	区役所職員の広報・広聴業務に関するスキルアップを図り、区民にとってわかりやすく親しみやすい広報・広聴活動を行う。	・随時、ホームページの更新作業を行いました。 ・麻生区役所職員を対象に、広報・広聴研修を実施しました。	「川崎市シティプロモーション戦略プラン」の方針を考慮しながら、区の広報広聴推進のあり方や広報研修の内容を検討し、引続き、市民に対する効果的な情報提供などのあり方を、実務を通じて検証していきます。
9 区の新たな課題即応事業								
40	継続	区の新たな課題即応事業	5,000,000	4,664,937	企画課	年度途中に発生する新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業を実施する。	・麻生区役所会議室の扉補修工事 ・麻生区役所旧エレベーター機械室の改修工事 ・保護課におけるセキュリティ対策に係るスイングドア工事及び備品購入 ・区役所内安全対策に係る物品購入 ・災害対応に係る啓発用物品購入	引き続き、次年度も、年度途中に区の新たな課題が発生した場合は、所管課や関係局と調整し、迅速な対応を行い、事業を実施していく。
合 計			66,448,000	60,241,681				